

2014年度 テクニカルアナリスト国際資格 第2次通信教育講座のご案内

プロ必須のテクニカル分析を
マスターしよう。



受講申込期間：2014年2月～3月
開講期間：2014年4月～8月（5ヵ月）

《テクニカルアナリスト資格について》

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があります。今回のご案内は、第2次資格取得のために必要な「第2次通信教育講座」に関するものです。当講座では証券投資理論やテクニカル分析の応用的な考え方を学び、それを文章で表現する力を養います。

受講修了者には、第2次資格試験受験資格が与えられ、合格すると国際テクニカルアナリスト連盟（IFTA）より英文資格認定書が授与されます。

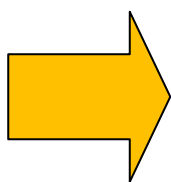
《第2次通信教育講座の募集概要》

- ① 受講資格 : 2014年3月31日現在のCMTA®資格取得者（当協会会員）
- ② 募集締切 : 2014年3月20日（木）
- ③ 開講期間 : 2014年4月～8月
- ④ 受講料 : 63,000円（税込）※再受講料は、31,500円（税込）となります。（この金額は2014年3月迄）
- ⑤ 第2次通信教育講座の内容 : 第2次通信教育講座の受講期間は、4月～8月の5カ月間です。添削問題は、毎月1回ずつ合計5回出題されます。解答方式は第1次通信教育講座とは異なり、全て手書きの小論文形式となります。これは、第2次資格試験が、テクニカル分析手法を用いて的確な解説ができる・専門的な雑誌や新聞など解説記事を提供できる能力を問うものであり、このため当講座においては、この解答方式を採用し本番の試験に備えられるようになっています。※今回より添削問題の提出が受験資格の必須条件となりました。

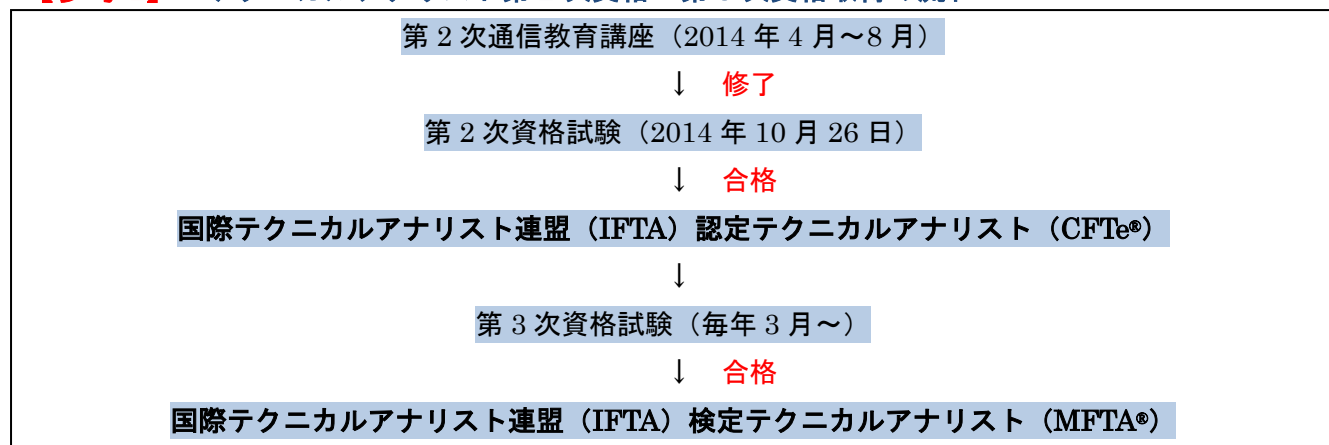
《第2次通信教育講座の申込》

- ① 申 込 : 原則として、当協会ホームページよりインターネットでお申込みください。お申込み受付後、当協会より受付のメールを送らせていただきます。メールの指示に従い、受講料のお振込をお願い致します。
- ② 受講料振込 : 三菱東京UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 NO. 2017789
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会
トクヒ）ニホンテクニカルアナリストキョウカイ
※振込手数料は申込者負担となります。

2次資格試験合格者には、
国際テクニカルアナリスト連盟
（IFTA）より
資格認定証が授与されます。



【参考 1】 テクニカルアナリスト第 2 次資格・第 3 次資格取得の流れ



【参考 2】 テクニカルアナリストの資格制度の概要

	第 1 次資格試験	第 2 次資格試験	第 3 次資格試験
受験資格	第 1 次通信講座受講修了者 〔全ての添削を提出〕 〔初回受講後 3 年間〕	CMTA®資格取得者でかつ、 第 2 次通信教育講座受講修了者 (同左)	CFTe®資格取得者
試験レベル	テクニカル分析に係る基本的な知識・能力	テクニカル分析に係る実践的な知識・能力	国際テクニカルアナリストの分野に新たな知識を加える研究能力
試験形式	選択式 120 分	小論文形式 180 分	研究論文提出
実施時期	毎年 1 月と 7 月 (年 2 回)	毎年 10 月 (年 1 回)	毎年 3 月～
受験料	10,000 円 (税別)	20,000 円 (税別)	900 米ドル
取得資格名	日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト CMTA® (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association)	国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト CFTe® (Certified Financial Technician)	国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト MFTA® (Master of Financial Technical Analysis)

【参考 3】 日本テクニカルアナリスト協会が実施する通信教育制度の概要

	第 1 次通信教育講座	第 2 次通信教育講座
募集日時	5～6 月 (夏期)・11～12 月 (冬期)	2 月～3 月
受講期間	7～11 月 (夏期)・1～5 月 (冬期)	4 月～8 月
添削問題回数	全 5 回	全 5 回
受講資格		当协会会员で CMTA®資格取得者
受講対象者	・証券、銀行等の金融機関勤務者 ・調査情報機関勤務者 ・投資信託、年金基金ファンドマネージャー	・大学関係者 (教授・学生) ・経済誌等の市場関係記者 ・テクニカル分析に興味のある方、個人投資家
受講料	63,000 円 (税込) *2014 年 3 月迄	63,000 円 (税込) *2014 年 3 月迄

《テクニカル分析について》

「テクニカル分析」は価格のチャート分析に市場分析・需給分析、更には投資家の行動心理などが加わった投資分析手法です。投資に際して用いられる、経済金融動向や産業動向・個別企業動向などを総合的に勘案した「ファンダメンタルズ分析」と、車の両輪をなす分析手法とされています。

ファンダメンタルズ的な変化を予想する投資家心理が需給の変化をもたらし、実際の株価は景気の変動に先行する傾向があります。従って、投資判断には先行する株価と遅行する経済指標の関係から両者の分析が不可欠になってきます。

※世界的に著名な投資家ウォーレン・バフェット氏は「必要なのは市場心理の浮き沈みに振り回されない強靱な精神力である」と行動心理の重要性を説き、また、著名ヘッジファンドを率いるスチュアート・ウォールトン氏は「ファンダメンタル的な要素、テクニカル的な要素、市場分析が各 25%、私の直感が残り 25%」と、テクニカル分析がファンダメンタル分析と同等の重要性を持つと語っています。

日本テクニカルアナリスト協会（NTAA NPO 法人）は、国際テクニカルアナリスト連盟（IFTA）に加盟しており、テクニカル分析の資格取得、更にはそのための通信教育を通じて、広く「テクニカル分析」の普及啓発活動に勤めています。

※中途解約規定

受講者が、やむをえない事由により受講を辞退した場合の取り扱いは以下の通りとする。

- ① 教材等発送前の申出は全額返還する。
- ② 教材等発送後の申出は当協会の規程に基づき返還する。



国際テクニカルアナリスト連盟（IFTA）加盟
日本テクニカルアナリスト協会®
特定非営利活動法人（NPO 法人）

〒103-0024

東京都中央区日本橋兜町 3-3

TEL : 03-5847-2231

URL : <http://www.ntaa.or.jp/>

EMAIL : office@ntaa.or.jp



2014 年 2 月作成